



ゼロ災運動分科会

会場 京都テルサ (西館 1F テルサホール) [京都市南区東九条下殿田町70 (新町通九条下ル)]

交通 京都市営地下鉄烏丸線「九条駅」4番出口より徒歩5分
JR「京都駅」八条口西口より徒歩15分
近鉄京都線「東寺駅」より徒歩5分

10月24日(木) プログラム(9:00開場)

9:30

1 事故から学んだ元請KYトレーナーを中心とした現場第一線への実践KY質的向上の取り組み(実演)
(株)TTK 山形支店
副支店長兼安全品質管理部長

佐藤 和憲

人身事故が起きた！KYも指差呼称も行っているのに何故？現場KYは班長が作業員へ安全作業手順を指示していなかった。元請KYトレーナー中心に班長の役割を強化した現場KY方法を現場第一線へ指導し、現場の不安全な行動、不安全な状態を排除する現場KYの実践を2S推進と同時に展開している。

9:50

2 現場KY活動の変革～KYボードからボイスKYへ～(実演)
NTT東日本-関信越 栃木支店 設備部 栃木サービスセンター
アクセス推進G 主査

筒井 貴裕

現場KY活動をKYボードからボイスKYへと移行することで質、即時性を高めた。現場作業者の作業量が多いこと、KYの実施確認が取れないことが課題となっていた。ボイスKYにすることで作業量の低減を実現し、管理者の手元での実施確認を可能としたことで、現場へ定着させた。

10:10

3 eラーニングを活用して、自社の作業で撮影した動画を用いた4RKYT活動の実施
積水化学工業(株) 京都研究所
生産力革新センター 安全環境グループ 係長

山田 雅美

2年前まで自部署の作業現場写真を使った4RKYTを実施してきたが、その方法では、一連の動作の中で現れるリスクが抽出しにくかった。改善案として、現場動画をもとに4RKYTを実施した。より多くの従業員に教育するため、eラーニングの仕組みに乗せて、約7,000名に毎月教育している。

(10:30～10:40 休憩) 10:40

4 ゼロ災運動の全社展開について(実演)
(株)東研サーモテック
管理本部 総務部 総務部長

小田 実

金属熱処理会社のゼロ災運動の全社展開を報告。①トップの宣言、②ゼロ災研修の体系化と実施、③KYTの現場実践、④全国産業安全衛生大会の参加、⑤社内KYT大会の開催、⑥海外拠点へのゼロ災運動展開、⑦中災防近畿コーディネーター会入会、⑧タイ従業員のボードKYT実演。

11:00

5 大鉄KYで労災防止～一人ひとりの声、アフターKYの取り組みについて～
大鉄工業(株) 北陸支店
安全推進部 課長

飯田 浩志

当社独自のKY手法である「大鉄KY」の定着等に向けて様々な施策を講じレベル向上が見れたが、実場面における危険回避行動に大きな課題も見受けられる。そこで「アフターKY」を作業終了時に取り組み、一定の成果を見ることができた。この「アフターKY」の取り組みについて報告する。

11:20

事例報告 日本一安全な列車見張会社を目指して
(株)レールセキュリティ
代表取締役社長

竹内 千里

PDCAサイクルで、ゼロ災運動を推進している。年3回研修、毎月全員会議、毎日ゼロ災チームミーティングを実施。触車事故防止、STK、KYT、HHK、目標管理、AKB(挨拶、声掛け、凡事徹底)、個人面談、Good Jobなどの活動について報告する。

11:50

6 KYTが職場を変えた
ヨシ電子(株)
製造2部課長

江口 正美

約3年前に労働災害が起これ、社員数の増加、新たな業種の追加により、企業文化、職場風土は大きく崩れていた。この事体を重く受け止め、(株)クボタ様から講師を招き、KYT研修から開始をした。KYTの手法を用いて、先取的・参加的な職場にどのように変わったのかを発表する。

(12:10～13:00 昼休み) 13:00



ゼロ災運動分科会

13:00

運動展望

KY活動の継続的な改善で生き生きとした職場風土を目指す

中央労働災害防止協会
教育推進部 ゼロ災推進センター 所長

鈴木 博仁

安全衛生を効果的に進めるには、機械・設備や作業方法など管理側で進める活動の継続的な改善とともに、KY活動を中心とした職場の自主活動の継続的な改善が望まれる。OSHMSのISO化、「VISION ZERO」等海外の動きに対応するゼロ災運動の展望を紹介する。

13:30

7 特例子会社におけるゼロ災運動～障がいを持つ社員と進める安全安心イキイキ職場づくり～(実演)

クボタワークス(株)
代表取締役社長

酒井 直人

クボタグループの特例子会社である当社が知的障がいを持つ社員と進めて来た安全活動の報告である。障がいを持つ社員への合理的配慮に基づく、理解しやすい全員参加の活動は、ルール遵守やヒヤリハット、危険予知活動と徐々に進化させ、彼らの自立と成長を支援している。

13:50

8 警備業こそ取り組むべきゼロ災運動

マンパワーセキュリティ(株) 京都オフィス
代表取締役専務 兼 京都オフィス所長

尾山 雄一郎

ゼロ災運動キックオフから十年が経過した。警備業の現場におけるゼロ災運動のあり方について、ひたすら追求し続けた結果、職場の抱える様々な問題が解決し、警備業こそこの運動に取り組むべきだという確信が生まれた。当社の取り組みとその成果を運動の導入を検討する同業者へ発信したい。

(14:10～14:20 休憩) 14:20

事例報告

病院の看護部門リスクマネージャーチームへのKYT定着支援

上武大学 看護学部
看護学科 教授

千明 政好

中災防医療KYを経験した看護師の職場から、院内のインシデント対策をしたいと講師依頼がありKYT導入支援を開始した。支援は年3回に分け実施し3年目になる。健康KY、インシデントKYTなど職場ごとに効果や変化が出てきている。経過と効果・課題等について報告する。

14:50

特別報告

ヒヤリ・ハットKY活動のすすめ

中央労働災害防止協会
教育推進部 ゼロ災推進センター

災害防止に効果のあるヒヤリ・ハット活動を展開するため、ヒヤリ・ハットの書き方、情報を現場の設備改善やKY活動へ展開する手法、さらにはヒヤリ・ハット活動を現場に定着化させる方法等を提案する。

(15:20～15:30 休憩) 15:30

表彰式

ゼロ災運動 表彰式

(15:50～16:00 休憩) 16:00

講演

人を大切に育てる教育～多様な価値観を認めあう心～

京都精華大学
学長

ウスビ・サコ

「人間尊重」や「自由自治」の理念のもと、多様な価値観を認めあい、国や地域、人種、性別、信仰などの違いを超えて学びあうこと、異なる相手を知り知的好奇心を持つ人を育てることなど、人を大切に育てる教育について体験を交えて語る。

17:00

ゼロ災